

## 日本人武見フェロー名簿

2026年3月2日現在

	年次	氏名	研究テーマ <sup>1</sup>
1	1984-85	田中 慶司	日本の公的医療保険制度における点数制度の比較評価
2	1985-86	藤井 充	日本における二次予防としての集団検診の費用対効果分析
3	1986-87	丸井 英二	戦後日本の公衆衛生改革の一側面－人口動態統計制度改革とGHQの果たした役割－
4	1987-88	大前 和幸	職業性健康影響発生におよぼす直接的・間接的曝露量変動要因の解析
5	1988-89	上原 鳴夫	ボリビアの病院における医療の評価：国際協力の事例研究/研究報告：開発途上国における病院プロジェクトの課題－ボリビアの事例研究から
6	1989-90	小林 廉毅	日本の高齢者医療費の財源
7	1990-91	津谷喜一郎	漢方薬の評価について：東アジアの視点
8	1991-92	門司 和彦	ケニア沿岸部ムワヒンガ村における住血吸虫症対策のための保健教育診断
9	1992-93	吉田 亨	アジア太平洋地域における都市化社会で住民が自ら問題を解決する能力を育成する過程
10	1994-95	三好 知明	ボリビアにおける献血者スクリーニングシステムの費用対効果分析
11	1994-95	高橋 泰	日本とフィンランドの高齢者介護の国際比較
12	1995-96	平山 恵	農薬、貿易、および国際保健
13	1995-96	金川 修造	ブラジル北東部における地域ベースの出生前ケアシステムの研究：初期新生児死亡率（ENMR）低減の可能性
14	1996-97	星 北斗	医療サービスの質と提供者の仕事に対する満足度との関係に関する研究
15	1996-97	中村 安秀	沖縄諸島における伝統的助産師の変遷
16	1997-98	穂積 大陸	地理情報システム（GIS）の公衆衛生計画と管理における利用の検討
17	1997-98	沼澤 勝美	医療政策策定プロセスの研究（日本医師会総合政策研究機構による新たな医療政策決定過程の模索）
18	1998-99	足立 基	タンザニアにおけるポリオ根絶
19	1998-99	能登 裕二	アメリカ医師会の会員構成、とくに青年医師会派に関する調査と日本医師会への適用
20	1999-00	今村 英仁	国際保健改革時代における日本の医療機関の責任の変容－米国医療制度を使った国際医療行政政策の定義と標準化
21	1999-00	坂本なほ子	途上国における新たな流行病としての小児肥満に関する疫学研究
22	2000-01	木本 絹子	大阪における性風俗産業従事者における性感染症の高い有病率：HIV感染が将来流行した場合の大阪の潜在的脆弱性
23	2000-01	小野 道夫	「選択的一次医療介入」は地域住民の自立と生活の質の向上をもたらすか？－国際NGOと地域NGOが地域エンパワーメントのために果たせる役割－

	年次	氏名	研究テーマ <sup>1</sup>
24	2001-02	神馬 征峰	ネパールにおける地域保健プロジェクトの戦略的活用
25	2001-02	小坂 健	日本における旅行者下痢症、その疫学、サーベイランス、リスクファクターおよび抗生物質耐性菌
26	2002-03	小林 肇	医療革新を実現する未来の設計—IT 医療の需要と供給の深い溝を越えて
27	2002-03	山本 太郎	疾病の歴史は人類の歴史—感染症に対する生態学的・進化的視点
28	2003-04	内藤 典子	日本における生活習慣病対策の研究
29	2003-04	清田 明宏	途上国、特に東地中海地域、中近東における結核対策の計画、方法、効果などの研究
30	2004-05 2005-06	永田 高志	日本における外傷データベースの構築と救急・外傷医療の向上への貢献
31	2004-05	小山内泰代	母子保健の改善に関する計画
32	2005-06	佐瀬恵理子	国際保健における人権保護：概念的枠組みと保健政策への実施
33	2005-06	杉浦 康夫	ラオスにおける垂直的・水平的アプローチを用いた小児保健サービス改善のための地域分析
34	2006-07	近藤 尚己	所得格差、格差拡大の速度における地域差、および日本人の全国代表標本における精神的ストレス
35	2006-07	柳生 文宏	ベトナム・ホーチミン市における HIV ケア・予防施設の地理情報システム (GIS) 配置システムの開発
36	2007-08	井出 博生	(現地採用) 日本における新たな問題の実証的政策研究：新たな支払制度と医療事故
37	2007-08	清水真由美	セネガル・タンバクンダ州の保健医療施設における女性中心の分娩ケア・モデルの探求—保健医療従事者の態度、分娩ケアに対する女性の認識、施設分娩に対するヘルスケア探索行動—
38	2007-08 2008-09	武見 敬三	(現地採用)
39	2008-09	浜本美英子	医師会の情報発信が果たす国際保健への貢献の可能性：各国医師会の医師会雑誌と定期刊行物についての国際調査
40	2008-09 2009-10	細田満和子	(現地採用) 日本における医療危機と解決策としてのソーシャル・ガバナンス
41	2008-09	太田亜里美	地理情報システム (GIS) による新潟県上越市のインフルエンザ伝播形式の分析
42	2009-10	崎坂香屋子	ケニア国 HIV/AIDS 罹患率の高い地域における地域栄養改善活動が住民の健康と行動変容に及ぼす影響についての研究
43	2009-10	依田 健志	エイズ遺児・エイズにより弱い立場に置かれている子どもたちに対する地域社会及び公的機関の支援体制の現状と課題
44	2010-11	富塚 太郎	日本における新型インフルエンザ感染症対策の評価—国際比較研究
45	2010-11	野崎威功真	ザンビア農村部における抗レトロウイルス療法 (ART) の効果とインパクト
46	2010-11	白井こころ	(現地採用) ソーシャルキャピタルと健康：心理的メカニズムの探求
47	2011-12	酒井 理恵	小児科医師数の地域偏在に関する基礎的研究—日米比較における検証—

	年次	氏名	研究テーマ <sup>1</sup>
48	2012-13	後藤 あや	アジア 2 ケ国における母子保健の向上を最終目的とする早期育児支援ツールキットの作成
49	2012-13	堀 和一郎	開発途上国・新興国における交通外傷患者に対する包括的アプローチ
50	2012-13	内山 周作	医療における大規模データベースの個人情報保護と利活用のための環境整備に係る研究
51	2013-14	富岡 慎一	在宅介護を担う人材の育成に関する各国制度比較の質的研究
52	2013-14	野村真利香	コミュニティと母子栄養サービスをつなぐコミュニティ保健人材の効果的活用に関する分析
53	2014-15	田沼 順子	アジアにおける多施設 HIV コホート研究
54	2014-15	金森 将吾	開発途上国の保健医療施設への 5S 導入による有効性
55	2014-15	橋本 謙	(現地採用) グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラスにおけるシャーガス病の地域ベースベクター監視における保健サービスの対応力決定要因
56	2015-16	棟居 徳子	健康権の観点からみた災害対応及び被災者支援施策のあり方に関する研究
57	2015-16	豊川 貴生	日本および米国におけるエボラウイルス感染症に対する政策および保健医療システムの比較と検討
58	2016-17	江口 尚	日本版職場のソーシャル・キャピタル尺度の開発
59	2016-17	大川 純代	ガーナ国、ミャンマー国における母子保健の統合継続ケアモデルの開発
60	2017-18	武藤 剛	日本における、患者の治療と職業生活の両立支援に向けた、医療機関・職域 (C2C) 連携基盤の評価
61	2017-18	國枝 美佳	仏語圏中西部アフリカにおける予防接種の需要促進要因
62	2018-19	杉浦 至郎	名古屋市乳幼児健診データを用いた乳児期早期重症喘鳴及び食物アレルギー発症ハイリスク児の予測
63	2018-19	高橋 宗康	テロメア長測定を用いた、東日本大震災被災地における小児の慢性的精神ストレスの検討
64	2018-19	石川 雅俊	Accountable Care Organization の現状を踏まえた日本の医療政策への示唆
65	2019-20	中込 敦士	ヘルシーエイジング実現に向けた社会参加促進によるポピュレーション戦略
66	2019-20	小熊 妙子	低中所得国におけるコミュニティ・ヘルス・ワーカーが活動を継続する要因：自律性とその活動継続のモチベーションにもたらす効果の量的検討
67	2020-21 2021-22	宮原 麗子	結核高蔓延国における多層的な解析を用いた結核感染高リスク群の同定と介入についての検討
68	2020-21 2022-23	阿部 計大	要介護高齢者に対する居宅介護サービス(訪問介護、訪問リハビリテーション、訪問入浴、居宅療養管理指導、福祉用具貸与、通所介護、通所リハビリテーション、ショートステイ)の有効性の実証分析
69	2023-24	吉田 一隆	孤独に起因する社会的なつながりと社会的処方 <sup>2</sup> の国際比較
70	2023-24	井上まり子	(現地採用) すべての人にディーセントワーク (働きがいのある仕事) を：日本におけるギグワークを含む多様な就労形態と雇用状況に関連した健康格差の研究

	年次	氏名	研究テーマ <sup>1</sup>
71	2024-25	加藤 大祐	高齢者の社会的孤立の解消と地域間格差の是正－Social well-being に着目した高齢者に優しい街づくりの実現に向けて－
72	2024-25	西川 佳孝	放射線緊急事態における甲状腺防護策の実態調査
73	2025-26	アミール 偉	東京電力福島第一原子力発電所事故後に発生している放射線被ばくに伴う健康影響に関する差別・偏見・風評の払拭に向けた研究
74	2025-26	山口 佳小里	近年の日本における高齢者を対象とした地域におけるリハビリテーションサービス提供の推移：オープンデータを用いた制度改定および COVID-19 流行の影響に関する分析

<sup>1</sup> 研究テーマは原則として応募時資料に基づき、不明の場合は他の資料を参照した。なお、一部は事務局による仮訳である。